

京都の飛鳥・白鳳寺院

—平安京遷都前の北山背—

期間 平成31年2月9日(土)～6月23日(日)

飛鳥時代、それまでの信仰とは異なる仏教が朝鮮半島からもたらされ、当時の政権中央では、その受容を巡る崇仏・廢仏論争が政治の主導権争いを象徴する形で繰り広げられました。その結果、蘇我馬子ら崇仏派が物部守屋ら廢仏派を破り、政治主権を復るとともに仏教が受け入れられることとなりました。蘇我馬子が法興寺(飛鳥寺)、厩戸皇子(聖徳太子)が四天王寺を建立し、仏教は急速に広まり、各地にも寺院が建立されるようになりました。

このころの京都は都からは遠く、「山背」つまり山の後ろの国とされていました。『日本書紀』に厩戸皇子から下賜された仏像を祀るため秦河勝が峰岡寺を建てたと記されており、実際に発掘調査によっても飛鳥時代前半に遡る北野廢寺(北区北野白梅町交差点周辺)の存在が確かめられています。奈良時代の終わりに奈良から都が遷されてきますが、その間にも北白川廢寺・大宅廢寺・椋原廢寺など多くの寺院が建立されたことが発掘調査などによってわかっています。

今回の展示では、それら寺院遺跡の調査の写真や遺跡の復元図、土器や瓦など多岐にわたる出土遺物を中心に、同時代の集落や瓦窯などの調査成果も交えて、遷都前の京都のようすをご紹介します。あわせて、丹波に属しますが今年度に実施した右京区京北町の白鳳時代に建立された周山廢寺の発掘調査成果も紹介します。また、展示期間中には、ミニ講演会や展示遺物の入替えも計画しています。多くの皆様方のご来館をお待ちしています。

関連事業

京都市考古資料館文化財講座

(京都アスニー京都学講座の一環)

連続講座「京都の飛鳥・白鳳寺院」(全6回)

会場: 京都アスニー3階第8研修室

時間: 14:00～(開場は13:30)

第1回 1月26日(土)「京都における仏教文化の受容」

井上満郎 京都産業大学名誉教授 / (公財)京都市埋蔵文化財研究所理事長

第2回 2月23日(土)「最新の発掘調査が語る、周山廢寺の姿」

李銀眞 (公財)京都市埋蔵文化財研究所

第3回 3月30日(土)「北野廢寺と広隆寺」

鈴木久史 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

第4回 4月27日(土)「北白川廢寺と法観寺」

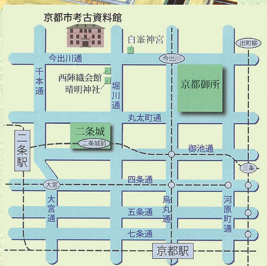
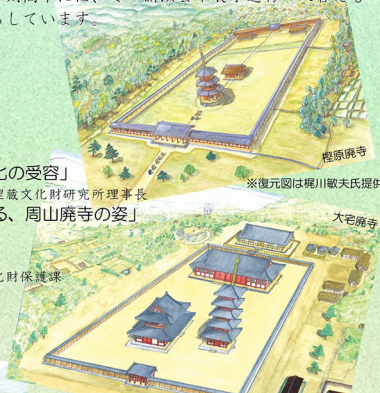
柏田有香 (公財)京都市埋蔵文化財研究所

第5回 5月25日(土)「山科盆地の古代寺院」

西田倫子 (公財)京都市埋蔵文化財研究所

第6回 6月29日(土)「椋原廢寺」

松古祐希 (公財)京都市埋蔵文化財研究所



お問い合わせ

京都市考古資料館

京都市上京区今出川大宮東入元伊佐町265-1

交通 市バス: 「今出川大宮」下車すぐ

「堀川今出川」下車西へ2分

TEL: 075-432-3245 FAX: 075-431-3307

E-mail: museum@kyoto-arc.or.jp

ホームページ <http://www.kyoto-arc.or.jp/museum/>

